

「お金」にかわるもの ～クレジットカードと上手に関わるには～

(総授業時数：5時間)

実施学年、教科など

第3学年 社会（公民的分野）（2）国民生活と経済 ア. 私たちの生活と経済

単元（題材）の目標

- ①身近な生活の中でカードが広く利用されている現状を知り、契約や信用経済について理解することができるようにする。
- ②クレジットカードが広く利用されている現状をふまえ、そのしくみや働き、メリットとデメリット、利用の現状を理解することにより、クレジットカードとは何か考えることができるようにする。
- ③クレジットカードの利用や管理に関する注意点を盛り込んだアドバイスカードを作成を通して、「クレジットカードとの上手な関わり方」を考えることができる。
- ④クレジットカードに詳しいゲストティーチャーとの意見交換に積極的に参加することを通じて、より専門的な情報や知識を得ることができるようにする。

学習の評価

- ①身近な生活の中でカードが広く使われていることに気づき、カード社会について興味・関心をもって学習に取り組んでいる。
- ②クレジットカードに関する理解を通じて、契約や信用経済について考えることができる。
- ③利用の現状をふまえ、また、自分が将来所有するであろう存在との立場から、アドバイスカードを作成することを通じて、「クレジットカードとの上手な関わり方」を考えることができる。
- ④自分の考えをもってゲストティーチャーと意欲的に意見交換を行うことができ、専門的な情報を得て、より良いアドバイスカードにしようとする事ができる。

展開の特色

- ①学習指導要領公民的分野における大項目（2）国民生活と経済の中項目「ア. 私たちの生活と経済」の趣旨を生かしながら、「契約」に基づく「信用経済」の最たる例であり、世の中で広く利用され、「お金に絡むリスク」を示す具体的事例の1つであるクレジットカードを取り上げることにより、「現在および将来の消費の主体（消費者）として、健全な消費生活を営むに必要な知識や技術を身につける」一助とするための機会となることを目指している。
- ②クレジットカードの支払いを想定した模擬体験も取り入れ、理解の定着を深めることを目指している。
- ③クレジットカードと上手に関わるためのポイントを読み込んだアドバイスカードを作成することを学習のゴールとして示し、生徒の意識を明確にする。
- ④一層の関心をもって具体的で分かりやすいアドバイスカード作りに取り組むことを期待し、作成過程においてゲストティーチャーとの意見交換の場を設定して、普段なかなか聴くことのできない専門的な立場からの意見を取り入れる。
- ⑤クレジットカードによる支払いにおいて重要な「金利」計算については数学、消費者教育の観点からは家庭科との連携が考えられ、社会科にとどまらず、積極的に他教科・時間などと連携していくことも可能である。

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校（社会）における入門ガイド
中学校（技術・家庭）における入門ガイド

実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における実践事例
3年
高等学校における実践事例

資料
年間指導計画の例

資料

指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動
1	・多様なカードが世の中には出まわっており、まさに「カード社会」であることを認識する。	○「カード社会」と呼ばれる世の中 ・自分の持っているカードや、世の中で使われているカードを挙げる。 ・挙げられたカードについて、以下の項目に従って区分する。 ・どこで手に入れられるか(全国どこでも/その店だけ) ・どこで使えるか(全国どこでも/その店だけ) ・代金の支払いができるか(できる/できない) ・利用限度額になるとどうなるか(終了/チャージできる) ・現金を引き出すことができるか(できる/できない) ・身分証明に使えるか(使える/使えない) ・そのカードを持っている、使うことで恩典があるか(ある/ない)
	・クレジットカードの存在について確認する。	○クレジットカードの存在 ・クレジットカードが既に2億9,000万枚近く発行され、32兆円超使われている現状を知り、これから所有するであろう立場からクレジットカードについて詳しく考えてみようとする意欲をもつ。
2	・クレジットカードとは何かについて、もっている機能・発行までの経過・利用のしくみの観点から理解する。	○使える機能・ついている機能・使える場所 ・ショッピングとキャッシングの大きな2つの機能があることを知る。 ・カード表面にある打刻された番号やICチップに注目し、身分証明に使えることを併せて理解する。 ・身近な場所で使える所があることに気づく。 ・使える場所がどうか分かるものを生活体験の中から見つけ出す。 ○申し込みから発行まで ・申し込みから発行までの経過を理解し、「信用」がもたれていることに気づくとともに、何に対する「信用」なのかを考える。
		○利用のしくみ ・利用者・加盟店・カード会社の三者が関わっていることを知り、それが「契約」により成り立っていることを理解する。
	・クレジットカード使用のシミュレーションを行い、理解を深める。	○カード利用のシミュレーション ・DVDを視聴し、CAT(信用照会端末)など使われる機器や場面を知り、シミュレーションのイメージをつかむ。その後、進め方について説明を受ける。 ・利用者側と店側に分かれてシミュレーションを行う。その後、立場を入れ替えて行う。 ・打ち出された伝票に注目し、何が書かれているのかを確認する。

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
◇広く使われている多様なカードについて注目し、いくつかの観点で区分することを通じて、その理解を明確にする。	☆導入として、知っているだけのカード名、自分は何枚のカードを持っているか、どんな時に使うかなどを発表させる。 ☆発表で出されるであろうカードを予想して準備しておき、出された際に実物を見せて興味・関心を引きつける。発表後はワークシートでの区分作業に入る。	・各種カード ・カードについて(1) ワークシート No.1 (→P.139) ・カードについて(2) ワークシート No.2 (→P.139)
◇クレジットカードの存在に気づくとともに、それが実際の消費生活の中に大きく広がっていることを具体的な数字から認識する。	☆クレジットカードの実物を見せて注目させ、その後、発行枚数・利用金額について具体的な数字を挙げて説明し、広く世の中に広まわり利用されていることを認識させる。 ・発行枚数 2億9,000万枚近く ・利用金額 32兆円超	・クレジットカード実物 ・カードについて(3) ワークシート No.3 (→P.140)
◇クレジットカードに関する基本的な事柄を理解することを通じて、商品とお金のやりとりの経路、「信用経済」、「契約」の意義や重要性を考える。	☆細かすぎる内容や難しい語句は避けるとともに、身近な生活の中で見聞きしていること(広告やテレビCM、店舗に貼られたステッカーなどを活用しながら理解を促す。	
◇契約に基づく商品販売について、それが意味することを理解する。	☆関わる三者については、図示しながら商品とお金の流れを押さえ、カード発行までの過程とも併せて「信用」、「契約」が基盤であることを理解させる。	・カードについて(3) ワークシート No.3 (→P.140)
◇経済活動の一場面をシミュレーション体験する。	☆DVD視聴後に改めてやり方(機器の操作方法や会話の例)を見本として示す。 ☆打ち出された伝票を活用し、確認の重要性や保管の必要性を意識させる。	・DVD「DVDで学ぶ!クレジットカード」 ・CAT

入門ガイド
 小学校における入門ガイド
 中学校(社会)における入門ガイド
 中学校(技術・家庭)における入門ガイド
 実践事例
 幼稚園における実践事例
 小学校における実践事例
 中学校における3年実践事例
 高等学校における実践事例
 資料
 金融教育に関する年間指導計画の例
 資料

入門ガイド
 小学校における入門ガイド
 中学校(社会)における入門ガイド
 中学校(技術・家庭)における入門ガイド
 実践事例
 幼稚園における実践事例
 小学校における実践事例
 中学校における3年実践事例
 高等学校における実践事例
 資料
 金融教育に関する年間指導計画の例
 資料

時数	ねらい	学習内容・学習活動	金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
3	<p>・クレジットカードのメリットについて考える。</p>	<p>○クレジットカードのメリット</p> <p>・なぜクレジットカードがこれだけ多く世の中に出まわり、広く利用されているのか、その理由をクレジットカードによる販売に関わる三者それぞれのメリットから考える。</p> <p><具体例></p> <p>①利用者(消費者)としてのメリット ②加盟店(販売店)としてのメリット ③カード会社としてのメリット</p>	<p>◇消費者の購買意欲を喚起させながら利潤を追求していくこと、利用の拡大は個人消費の拡大であり経済の活性化へとつながっていくことなどの背景を捉える。</p>	<p>☆加盟店のメリットについては、現金で販売する場合とカードで販売する場合の違い(利用者への販売促進チャンスの拡大、カード会社からの代金支払いの確実さ)などを、カード会社のメリットについては、自分がカードを発行してもらった際の手続き(年会費の徴収)などをヒントに考えさせる。</p>	
	<p>・クレジットカードを巡って発生している問題について考える。</p>	<p>○クレジットカードを巡る問題</p> <p>・便利でメリットも多い反面、利用拡大に伴って発生している問題について、実際の体験からの予想やDVD視聴を通じて考える。</p> <p><具体例></p> <p>①無計画な利用とそれに伴う支払い不能の増加 ②利用伝票へのサインの意味の不理解 ③利用伝票控えの確認・管理の不徹底 ④カードの作りすぎ ⑤安易な暗証番号の設定 ⑥カードの紛失、他人への貸与 など</p>	<p>◇現実の経済活動に起因する問題の一例として取り上げ、その原因について利用者の立場から考える。</p>	<p>☆大切な物を紛失して困ったことなど、まず自分の経験をヒントに考えさせた後、DVDを視聴させる。</p> <p>☆指摘された問題点について、「利用に関すること」と「管理・維持に関すること」に分類させる。</p>	<p>・DVD「DVDで学ぶ! クレジットカード」</p>
	<p>・クレジットカードと上手に関わるための「アドバイスカード」を作成する。</p>	<p>○クレジットカードと上手に関わるためのアドバイスカード作り</p> <p>・今までの学習をふまえ、また、今後クレジットカードを持つであろう存在としての立場からアドバイスカードの作成に取り組む。</p> <p>○より具体的で分かりやすいアドバイスカードの作成のために、2人のゲストティーチャーとの意見交換に意欲的に取り組む。</p> <p>・ゲストティーチャー1:千葉県金融広報委員会の金融広報アドバイザー ・ゲストティーチャー2:日本クレジット産業協会クレジット教育センター長</p>	<p>◇利便性をもつクレジットカードを上手に使うためには留意すべき事項があることに気づく。</p> <p>◇今までの学習をふまえ、「信用」、「契約」の重要性や利用者としての心得や留意事項が盛り込まれるような具体的な内容のアドバイスカードとする。</p> <p>◇県金融広報委員会とクレジット産業協会からゲストティーチャーを招聘し、専門的な立場からの意見も取り入れながら作成する。</p>	<p>☆次時の学習への導入とする。</p> <p>☆「クレジットカード=悪いもの・絶対に使ってはいけないもの」との立場には立たず、カード社会の広がりや上手に利用するためにはどうすればいいかとの視点から考えさせる。</p> <p>☆ゲストティーチャーの所属機関に関することについては予め説明しておく。</p>	<p>・カードについて(4) ワークシート No.4 (→P.140)</p>

3

45 (本時)

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校技術・家庭における入門ガイド

実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における実践事例
3年
高等学校における実践事例

資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校技術・家庭における入門ガイド

実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における実践事例
3年
高等学校における実践事例

資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料

本時の展開

導入(3分)

展開(42分)

まとめ(5分)

学習内容	学習活動
1. クレジットカードを巡って、様々な問題があることを確認する。	○クレジットカードを巡る問題点の一例(カード裏面への氏名記入忘れ)を示すDVD映像を視聴する。
2. 本時の学習課題・学習過程を確認する。	○クレジットカードと上手に関わるためのアドバイスカードを作ることが本時の課題であることを確認する。 ○以下の学習過程について確認する。 ①宿題のアドバイスカードの標語部分についてクレジットカードの専門家であるゲストティーチャーや友人と意見交換を行う。 ②友人の考えやゲストティーチャーとの意見交換を参考に、出されているアドバイスカードを整理し、その中から適切なものを選出する。 ③選出された標語とともに『轟町中学校版：クレジットカードと上手に関わるためのアドバイスカード』に載せるべき補足説明の事柄を確認する。
3. より具体的で分かりやすいアドバイスカードにするためには、どこを、どんな語句や表現に修正すればいいかを考えながらゲストティーチャーと意見交換を行う。	○「利用に関する内容」、「維持・管理に関する内容」の2つのグループに分かれて意見交換を行う。 ○意見交換を参考にして、グループとして、クレジットカードと上手に関わるための標語を選出する。 ○選出された標語とともに載せるべき補足説明の事柄について考える。
4. 意見交換の様子について伝え合う。	○2つのグループの代表が意見交換の様子について報告する。
5. ゲストティーチャーからのコメントを聴く。	○感想を含むコメントを聴く。
6. アドバイスカード完成に向けての今後の取り組みを確認する。	○以下の留意事項を確認する。 ①この授業後に自分がカードを使用した時に考えたこと、感じたことを参考にすること。 ②クレジットカードに関するニュースに今後も関心をもち、参考にすること。

【本時の目標】

- ア アドバイスカード作成を通して、「クレジットカードとの上手な関わり方」を考えることができる。
- イ より専門的な情報や知識を得るために、ゲストティーチャーとの意見交換に意欲的に参加できる。

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
	☆クレジットカードが広く使われている世の中の現状と、映像にあるような様々な問題が増加していることを再確認させる。	・DVD「DVDで学ぶ! クレジットカード」
◇カード利用が、信用に基づいた三者間の契約による経済活動であり、上手に関わることで消費生活、経済活動の両面から大切であることを再度押さえる。	☆クレジットカードと上手に関わるにはどうしたらいいか、考えていくことを確認させる。 ☆アドバイスカードの完成予定作品のイメージを提示し、意欲の喚起を図る。	
	標語 ----- 補足説明	
◇具体的な数値やキーワードを入れたアドバイスカードを考えることで、カード利用・管理に当たっての留意点やリスクを整理する。	☆意見交換は以下の2点から行わせる。 ・内容面での間違いがないか ・表現として適切、具体的であるか ☆意見交換を経て、最終的に修正すべき点がある場合には修正させる。その後、グループとして適切と思われる標語を選出するよう促す。 ☆補足説明部分に入れるべき項目について、前時までの学習内容から見つけ出すようにさせる。	
	☆意見交換で取り上げられた主なポイントとそれについての反応を整理して伝えるようにさせる。	
◇カード社会における消費者行政の実態についての関心をもつ。	☆選出された標語に関連し、社会の中で実際に取り組み始められている施策などがあれば併せて紹介してもらう。	
◇学習した内容が実際の経済活動とどのように関連していくか、今後も関心をもって注目していくことの大切さを知る。	☆アドバイスカードの完成に向けて、今後も新聞やニュースなどでクレジットカードに関連する事項がないか注目していくよう伝える。	

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校(技術・家庭)における入門ガイド
実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における3年実践事例
高等学校における実践事例
資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料

入門ガイド
小学校における入門ガイド
中学校(社会)における入門ガイド
中学校(技術・家庭)における入門ガイド
実践事例
幼稚園における実践事例
小学校における実践事例
中学校における3年実践事例
高等学校における実践事例
資料
金融教育に関する年間指導計画の例
資料

実践の記録

- ・この授業実践では、日常生活において既に様々なカードを利用している実態をふまえ、「将来、自分もクレジットカードを持つ立場になる」との意識をもちながら学習が継続されていった。クレジットカード使用のシミュレーションやDVD視聴、ゲストティーチャーの招聘などを取り入れたことにより、生徒の興味・関心が持続するとともに、何気なく見聞きしていたものがもつ機能や決まり、注意事項を「新たに知っていく」面白さも味わえたようであった。
- ・アドバイスカード作成に向けて、クレジットカードに関するニュースに目を向けるようになったり、新聞の経済欄に「クレジットカード」の文字がないか探すようになった生徒も見られた。
- ・以下は完成したアドバイスカード作品（一部）である。

<利用に関する内容>

あのコート、今度来たらもうないだろうな
 欲しいな・・・お金ないけど、とりあえず
 カードを使って買ってしまおう。
 給料が入れば何とかかなるさ。

【標語】

収入と 支出のバランス 考えて

【解説】

カード利用金額の目安は給料の2割程度です。
 無計画なカード利用は結局、自分に返ってきます。余裕をもって、本当に必要なかよく考えて、計画的な利用を心がけましょう。

<管理・維持に関する内容>

「カードはちゃんと返すし、私が使った分はきちんと払うから・・・」
 親友のA子がカード貸してって言ってきた。
 彼女のこと良く知ってるし、まあ、いいか。

【標語】

貸し借りは 信用・契約 破ってる

【解説】

クレジットカードは信用にもとづいてカード会社から貸してもらっているものです。
 他人への貸し借りは契約違反で、禁止されています。絶対してはダメです。



○現在、あなたはどんな「カード」を持って（使って）いますか。

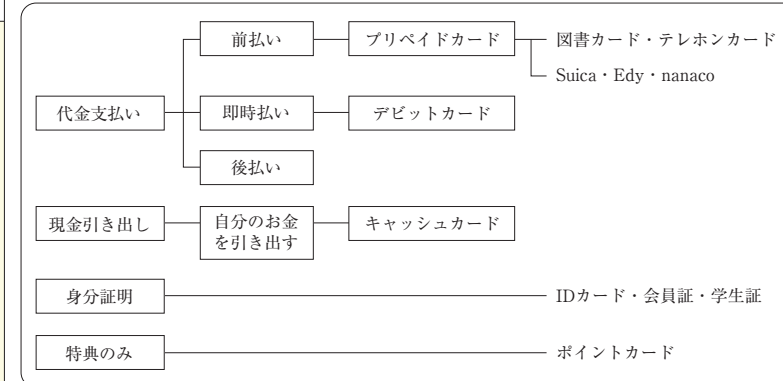
○そのカードを以下の区分で分類してみましょう。

- ①全国どこでも手に入れられる.....
- ②その店でしか手に入らない.....
- ③全国の多くの店などで使える.....
- ④その店のみで使える.....
- ⑤代金の支払いができる.....
- ⑥使える金額（利用限度額）が示され、.....
それがなくなると使えなくなる
- ⑦使える金額（利用限度額）が示され、.....
なくなりそうになるとチャージできる
- ⑧現金を引き出すことができる.....
- ⑨身分証明に使える.....



カードについて (1)

○君たちが持っている「カード」は、下図のように分類されます。



○実は、18歳以上にならないと持てないけど、

「後払い」で「代金の支払い」ができ、
 「外国を含めた広い範囲で使えて」、「身分証明としても使える」カードがあるんです。

★いわゆる [] と言われるカードです。

- ①実物は、どんなものなのでしょうか？
- ②実際、どのくらいの枚数が発行されているのでしょうか。 →予想 枚
→実際 枚
- ③どうやったら持てるのでしょうか？
- ④どんな機能がついているのでしょうか？
- ⑤どこで使えるのでしょうか？
- ⑥カードの利用のしくみはどのようになっているのでしょうか？



カードについて (2)

入門
ガイド

小学校における
入門ガイド

中学校(社会)に
おける入門ガイド

中学校技術家庭に
おける入門ガイド

実践事例

幼稚園における
実践事例

小学校における
実践事例

中学校における
実践事例

3
年

高等学校における
実践事例

資料

金融教育に関する
年間指導計画の例

資料



カードについて (3)

「後払い」で「代金の支払い」ができ、「外国を含めた広い範囲で使えて」、「身分証明としても使える」クレジットカードについてまとめると以下のようになります。

消費者の「信用」にもとづいた「契約」により成り立っている

- 現在の発行枚数……約2億9,000万枚（計算上では国民一人あたり2枚以上持っている状況）
- 持っている機能……販売信用……ショッピング（現在、32兆1,000億円利用されている）
消費者金融……キャッシング（現在、7兆5,000億円利用されている）
その他……一種の身分証明書代わり
- 使える範囲……ステッカーが貼ってある店舗で使える。国内はもとより、外国でも使える。
- カードを持つまで……DVDを視聴して、確認してみよう。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

- 利用のしくみ……資料集で確認してみよう。

クレジットカードが利用されることは、まさに「経済」活動が行われていることです

「経済」とは、生産と消費を両輪とした人間の活動をまとめて言いますよね。
クレジットカードが利用されるということは「買う」と「売る」側がいて
品物やお金、サービス、情報が動いていきます。
そこには、まさに人々の活動が行われているのです。

クレジットカードの利用は実際にはどんなメリットがあるのでしょうか

	カード利用者にとって	店（加盟店）にとって	クレジット会社にとって
メリット			

ビデオに出演している人物が語っている「クレジットカードを巡る問題」とは？

- メモをとりながら視聴してみましょう。

便利で多くの人に利用され、メリットも多いクレジットカード、しかし、一方では様々な問題もあります。

- <利用に関する内容>
 - 不要・不忽の利用
 - 無計画な利用とそれに伴う問題の発生（借りすぎ・買いすぎ、支払い不能者の続発）
 - サインの意味の不理解
 - 利用控えの確認不徹底
 - 悪徳な店員などの行動（スキミング行為など）への無関心
- <管理に関する内容>
 - カードの作りすぎや不必要なカードの所有
 - 安易な暗証番号の設定
 - カード裏面への署名忘れ
 - カードの紛失
 - カードの他人への貸与

「クレジットカードと上手に関わる」ためのアドバイスカードを作ろう

表	裏
ついに、新しいカードが送られてきました。とりあえず、お財布の中に入れておけばいいね。	まずやろう 裏への署名と 契約書読み <small>カードは署名（サイン）がないと使えません。すぐにおきましょう。 カードを持つ・使うことは、カード会社とサインのある人との間で交わされた契約に基づくものです。また、細かい字だけと、契約内容をしっかり読んでおきましょう。</small>

◆次の場合、どんなアドバイスカードにすればいいかな？（クレジットカード利用に関する注意点）

あのコート、今度来たらもうないだろうな、欲しい……お金ないけど、とりあえず、カードを使って買ってしまおう。 給料が入れば何とかかなさ。	
--	--

◆次の場合、どんなアドバイスカードにすればいいかな？（クレジットカードの管理に関する注意点）

「カードはちゃんと返すし、使った分はきちんと払うから……」 親友のA子がカードを貸してって言ってきた。 親友だし……まあ、いいか。	
---	--



カードについて (4)